

一般社団法人日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 ダイバーシティ推進委員会規則

第1章 総則

(名称)

第1条 この委員会は、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会（以下「本学会」）ダイバーシティ推進委員会と称する。

第2章 目的および活動

(目的)

第2条 ダイバーシティ推進委員会（以下「本委員会」）は本学会の正会員の多様化によって生じた問題について検討するとともに、適切なキャリア支援を行うことで全ての会員の泌尿器内視鏡外科手術技能を高め、もって本学会および会員の活動の維持と発展、ひいては患者の利益に寄与することを目的とする。

(活動)

第3条 本委員会は、前条の目的を達成するために以下の活動を行う。

- (1) 出産・育児・介護等を行う医師を取り巻く問題の調査活動
- (2) ハラスメントを含む労務環境の改善
- (3) 意思決定の場への多様な人材登用の推進
- (4) 会員への均等なキャリア支援
- (5) 会員相互の親睦と情報交換
- (6) 諸外国のダイバーシティに関する情報収集および交流
- (7) その他、理事会あるいは委員会が必要と認めた事項

第3章 構成および委員

(構成)

第4条 本委員会は、以下に掲げる委員10～12名をもって構成する。

- (1) 本学会定款第5条に定める会員。
- (2) 本学会定款施行細則第22条に定める学識経験者、その他の者。

(委員の選任)

第5条 委員は本学会理事長が選任する。

2 委員は、本学会理事改選後可及的速やかに改選する。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 他の委員の補欠として選任もしくは増員として選任された委員の任期は、他の委員の任期と同時に満了する。

(委員長および副委員長)

第 7 条 本委員会に委員長を置く。委員長は本学会理事長が理事の中から推薦し、理事会の承認を得て理事長が任命する。委員長は再任され得るが、3 期を上限とする。

2 委員会に、委員長の指名により、副委員長を置くことができる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

第 4 章 会議

(委員会の開催、議決)

第 8 条 本委員会は、委員長が招集する。

2 本委員会の開催は委員定数の過半数の出席を必要とする。但し、当該議事に付き書面をもって予め意思を表示したものは、出席者とみなす。

3 議事は、出席委員の過半数の同意で決し、可否同数のときは、委員長が決する。

(議事録作成、理事会報告)

第 9 条 本委員会議事については、議事録を作成し、委員長が署名押印し、定款施行細則第 26 条に則り理事会等で報告しなければならない。

(会議庶務)

第 10 条 本委員会の庶務、謝金・費用の支弁は本学会事務局において処理する。

第 5 章 補則

(規則の変更)

第 11 条 本委員会の規則を変更する場合には、本委員会での議決を経て、本学会理事会での承認を得なければならない。

付則

(施行期日)

この規則は、2024 年 4 月 22 日から施行する。